



しねんごすず 次年少子こわ清水

大石田町大字次年少子



〔管理者〕大石田町 〔保全体〕次年少子産業協同組合

ポイント

そば街道を通り、次年少子に向かうと、集落の手前に冷たい水が勢いよく湧いている。葉山からの湧水は水量も豊富で、地元の水道にも使われている。「こわ」の名前は、その昔、山仕事や山越えの人々が、この水で喉を潤したが、大変な山道に「こわい」（「つらい」、「苦しい」の方言）と言っていたことによる。水受けは陶器製で、地元の次年少子窯で製作されたもの。次年少子窯の陶器は、県内外の有名老舗旅館の湯舟などにも使われている。湧水から、近傍の大高根山（やまがた百名山）を散策すれば、自然を満喫できる。



現在の水受け



アクセス

 (北緯38.583992°、東経140.287467°)

村山市内、国道13号線を通り、村山市榎山の交差点を次年少子方面に県道36号線を西に向かう。13km程進むとスノーシェッドがあり、さらに100m先、左側に「こわ清水」の標識。その直ぐ下にある。清水の脇に1、2台分の駐車スペースがある。

